

インフルエンザ関連情報 ～インフルエンザの発生動向について～

1 概要

高知県感染症発生動向調査の平成27年第1週（平成26年12月29日～平成27年1月4日）の報告で、インフルエンザ様患者が前週に比べて大幅に増加し、県全体で、注意報の発令基準値の1定点医療機関あたり10.0を超える、21.38となりましたのでお知らせします。今後も流行が拡大していくものと考えられますので、県民の皆様への注意喚起のため情報提供を行います。

* 定点当たり報告数とは

インフルエンザの患者数の把握をするため、定点医療機関として、県内48医療機関を選定し、毎週の患者数の報告をいただき、患者総数を定点医療機関数(48)で割った1医療機関当たりの報告数。

2 全国・高知県内の発生動向（インフルエンザ）

(1) 全国

定点医療機関の報告数は、平成26年第42週（10月13日～19日）以降増加しており、第51週（12月15日～21日）で定点当たり15.17となっています。報告数が多かったのは、埼玉県35.38、北海道25.95、岩手県24.73となっており、全都道府県で前週よりも増加しています。

平成26年第47週～51週の直近の5週間では、インフルエンザウイルスの検出は、A香港型の割合が最も多くなっています。

(2) 高知県内

定点医療機関の報告数は、第47週より増加し始め、平成27年第1週（平成26年12月29日～平成27年1月4日）の報告で1定点医療機関あたり21.38となり、前週（9.40）から増加し注意報値（10.0）を超えました。保健所管内別では中央西福祉保健所管内（40.60）、高知市保健所管内（27.13）、須崎福祉保健所管内（19.00）、幡多福祉保健所管内（17.25）、安芸福祉保健所管内（13.75）、中央東福祉保健所管内（10.91）となっています。

医療機関による迅速キット結果では、インフルエンザウイルスの検出はA型の割合が最も多くなっています。

(3) 高知県内保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における休校数、学年閉鎖学校数、学級閉鎖学校数（H26.12.26）

	12/15～21日	12/22～28日	累計
休園、休校数	0	0	0
学年閉鎖学校数	1	2	3
学級閉鎖学校数	2	1	3

3 予防対策と注意事項

【かからないために】

- ① こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- ② でかけるときは、なるべく人ごみを避けましょう。
- ③ 十分な栄養と休養をとりましょう。

【人にうつさないようにするために】

- ① 「咳エチケット」を守りましょう。
- ② 外出はできるだけ控えましょう。

【医療機関を受診する時の注意点】

- ① 事前に電話をして、受診時間や受診に際しての注意事項を確認しましょう。
- ② 受診する際には、必ずマスクを着用しましょう。

4 その他

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/index.html>

※高知県では、日本一の健康長寿県構想を策定し、
県民の健康づくりを重点的に進めています。

担当課：健康対策課
担当者：内川・宮地
電 話：823-9677